

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.204

(財)日本学校保健会

生涯を通じて健康で、明るく  
豊かに生きる子どもの育成  
-健康なライフスタイルを確立する  
自己管理の育成をめざして-  
第44回全国学校保健研究大会の主題  
(平成6年度 和歌山県)

## 学校保健センター的事業と学校経営

(財)日本学校保健会 専務理事 青木 宣昭

本会の大きな事業として「学校保健センター的事業」があります。文部省の委託による事業で、「普及指導」「調査研究」「健康増進」の3部門に分れて、学識経験者と各職域で活躍されている方々に参加を求め、現時点の学校保健の課題の研究と解決が図られています。点の学校保健の課題の研究と解決が図られています。

平成6年度の調査研究の部門では11の委員会が構成されて、健康診断の項目、健康学習の在り方の検討、保健管理に関する調査研究等が行われています。健康増進の部門では、児童生徒の健康状態のサーベイランス、ヘルスカウンセリングの推進、エイズ教育の推進等が、15の都道府県において実践を進めつつ行われています。何れも、年度の成果は2月の報告会で発表され、また、各委員会からは冊子・指導書等を発刊して普及が図られています。

社会環境・生活様式が年々変化する中で、学校経営もそれに対応して工夫していかなければなりません。本会の学校保健センター的事業のそれぞれは、その方向を示すと同時に、学校教育に適切な助言になることを念願しております。どうぞ、この事業の報告を学校経営にご活用いただくよう、お願い申し上げます。



「日本の未来をになう子供たち」より (財)日本学校保健会刊

### 目 次

- 「エイズ教育公開シンポ」  
について…2
- 定期健診の  
見直しについて…3
- 全国学校保健研究大会を  
迎えるに当たって…4
- 北から南から……………5
- 「学校保健募金」  
大先輩からの提言…6
- 保健会だより・  
協賛者ご芳名…7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 「エイズ教育公開シンポジウム」について

文部省体育局学校健康教育課エイズ教育専門官 石川 哲也

現在、エイズは世界各国で爆発的に増加し、深刻な社会問題となっています。我が国においても、特に、20歳代の若い世代に感染が広がりつつあるなど今後のエイズ感染者の急増が危ぐされる状況にあり、まん延防止対策が緊急の課題となっています。

### 1. 文部省の対策

このため、文部省におきましても、エイズ予防のため、指導資料の作成、研修会の開催及び推進地域における実践など、(財)日本学校保健会の協力をいただきながら様々な施策をとっています。

WHO(世界保健機関)は、世界規模でのエイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的とし、加盟国に対しエイズに関する知識の普及を呼びかけており、今年、アジアで初めて、日本において国際エイズ会議が開催されました。

〈1994年8月7日(日)～12日(金) 横浜市〉

この趣旨を踏まえ、文部省、(財)日本学校保健会及び(財)日本性教育協会の主催により、8月5日、エイズ教育公開シンポジウム「AIDS－理解と行動－」を開催しました。以下その概要を報告します。

### 2. 基調講演

WHOのエイズ対策本部における青少年のための性教育、エイズ教育の責任者であり、様々な国の学校におけるエイズ教育プロジェクトを推進しているMariella Baldoさんをお願いしました。

Baldoさんは、「エイズや性感染症を防止することは、健全な性について学ぶことを意味します。そのため、資金を学校における包括的な保健カリキュラムに向けることが最も効果的です。そこでは、カリキュラムは、健康的な行動パターン、共通な技能の育成に焦点をあて、将来、麻薬、性行動、栄養、衛

生、保健制度の活用などの面で間違いを起こさないための土台固めをすることが望まれています。エイズ教育についても、キメ細かく、文化的にも違和感のない形で、実生活に即したリスク体験を繰り返し話すことによって学び取ることができる」と述べ、900名を越える参加者の共感を得ました。

### 3. シンポジウム

それに続いて、「AIDS 理解と行動」－各国のエイズ啓発活動－と題するシンポジウムを行いました。パネリストは、米国情報・性教育評議会においてHIV及び性教育に関するワークショップの企画・運営を担当などプログラムサービス課長のCarolyn Palierunoさん、オーストラリアのプリンスオブウェールズ病院臨床心理士としてエイズ患者・感染者をはじめ彼らを取り巻く家族・友人に関する心理療法やカウンセリングを行っているKathleen Barbarn Caseyさん、インドネシアのヤヤサンホットラインサービス協会においてエイズサービス協会の活動を積極的に進めているDede Oetomoさん、岐阜大学助教授で日本のエイズ教育の推進に活躍中の近藤真庸さん、司会を文部省体育局学校健康教育課エイズ教育専門官石川が行いました。

### 4. まとめ

各国の実情を聞きながら、それぞれの国の教育環境の違いから、様々な教育が行われていること、我が国のエイズ教育の方向が妥当であること、日本は世界のエイズ教育にもっと貢献すべきことなどの認識が深まりました。

詳細については、シンポジウムの成果を報告書としてまとめる予定です。

# 学校における児童生徒等の定期健康診断 の見直しについて

文部省体育局学校健康教育課 専門員 今 村 知 明

今回、かねてより懸念中であった、学校における定期健康診断の見直しの骨子がまとまった。この定期健康診断の見直しは、15年ぶりの大幅改正となる。

## 1. 経 緯

文部省では、昭和62年4月に日本学校保健会へ児童生徒等の健康診断の見直しについての検討を委嘱した。同会から文部省体育局あてに最終的な報告(最終検討まとめ)があり、平成6年7月6日、保健体育審議会学校保健分科審議会を開き、この報告の内容について審議し、原案どおり通過した。これを受け文部省としては平成7年度からの実施に向けて所要の改正等を行うために作業中である。

## 2. 検査項目の具体的な変更について

- (1) 身体計測として実施していた身長、体重、胸囲、座高のうち、胸囲については、個人に対する健康状態の評価としての価値などを考慮し、全員について必須の測定とするよりは、省略することができるものとした。
- (2) 視力検査において、日頃、眼鏡、コンタクトレンズを使用している者については、その旨を記すとともに、それぞれ着装のまま検査を行い、裸眼視力の測定を省略することができるものとした。また、眼鏡等を使用していない者については、従来どおり裸眼視力の測定を行うことになる。

しかしながら、近年、児童生徒等の裸眼視力が急激に低下していることから、目の健康に対する関心が高まっており、裸眼視力の統計データは政策を実施して行く上でも不可欠であろうとの結論に至った。そこで今後、引き続き児童生徒等の裸眼視力の変化を追跡し継続した測定値を得るために、全国値を推定するのに必要な客体数を算出し、全国で抽出され

た学校のみ裸眼視力の測定をお願いする事とした。これにより政策決定に必要な統計データは確保できる予定である。

- (3) 色覚の検査については、今までは小学校第1学年、第4学年、中学校第1学年、高等学校第1学年で行っていたが、今回からは小学校第4学年で1回実施することを原則とし、さらに必要な場合には、学校における健康相談などの活用によって、個別に検査、指導を行うこととした。
- (4) 聴力の検査については、これまで、小・中・高等学校の偶数学年は省略できることとなっていたが、小学校第2学年は耳鼻科疾患と聴力の問題を考慮し、全員実施することとなった。
- (5) 心臓の疾病及び異常の有無の検査として、心電図検査を実施することとなった。これにより心電図検査は、小学校第1学年、中学校第1学年、高等学校第1学年で行なわれる事になる。
- (6) 寄生虫卵の検査は、今まで小学校の全学年で行われており、中学生以上の生徒については省略することができるとしてきた。今回の改正により中学生以上の生徒、学生と同様に小学校高学年(第4、5、6学年)の児童についても省略することができることとした。

## 3 おわりに

健康診断は、成長しつつある児童生徒等にとって、日時を決めての横断的な検査である。しかし、近年の健康上の問題は、日常の生活、ライフスタイルに由来するものがむしろ多くなり、重要となってきていることなどから、日常の健康観察を重視することが今後の児童生徒等の保健管理、教育、指導により重要になって行くのではないかと考えている。

## 第44回全国学校保健研究大会を迎えるに当たって

### 和歌山県学校保健連合会事務局

和歌山県で開催いたします第44回全国学校保健研究大会につきまして、御紹介させていただきます。

本県では昭和63年に大会開催の決定をいただき、事務局内において種々検討を重ねるとともに、その後、平成5年に実行委員会を設立し、実行委員会を中心に文部省を初め関係機関・団体のご指導を仰ぎ、大会の成功に向けて種々努力を重ねてまいりました。

基本構想の設定に当たっては、臨教審の答申、新学習指導要領のねらいを踏まえ、大会テーマを「生涯を通じて、明るく豊かに生きる子どもの育成」—健康なライフスタイルを確立する自己管理能力の育成を目指して、と策定いたしました。

この大会テーマに基づき、特別講演では「健康な心と生きがいを与える教育とは何か」と題し、メンタル・ヘルス国際情報センター小林司所長の御講演をいただくことになっております。

課題別研究協議については、協議題を10領域12課題に設定しておりますが、本県独自の取り組みとして特筆すべき点は、小学校、中学校、高等学校の保健学習領域並びに、性教育領域において公開授業

(和歌山方式)を実施することです。この「和歌山方式」は、全国でも初めての試みとして注目されておりますが、小学校大規模校(雑賀小学校)で8つの公開授業、小規模校(雑賀崎小学校)で3つの公開授業を行うことにしております。また、他の領域につきましても、全国から研究実践の取り組みと成果について発表いただき、活発な討議が展開されるよう、工夫しております。

この和歌山大会を通じて、全国からお越しの皆様方がそれぞれの立場で研鑽するとともに、実践活動に活かしていただくことを期待している次第であります。

終わりに、全国から御参会の皆様方に、和歌山大会に参加して良かったといただけるような、心のこもった実のある大会にしたいと、1ヶ月あまりに迫った大会の開催にむけて関係者一同鋭意準備に取り組んでいるところでありますので、黒潮の香り豊かな和歌山、関西新空港の開港により国際都市を目指す、和歌山への御来県を心からお待ち申し上げます。

## 虎の門(27)

### 活きのいい奴

活きのいい奴とは、表現能力の優れた人間をいう。日本人は、自己表現が下手で外国人がらみると「何を考えているのか、よく分らない」と言われている。現代に生きる人間はあらゆる場で自己表現を必要とする。

○会談が じょうずで、文章も明解

である。

○相手を説得する話術と内容がある。

○ア、ウンの呼吸で対話ができる。

○身だしなみがよく、姿もスマートである。

要するに今年の全国学校保健研

究大会の研究主題“明るく豊かに生きる”を平素、実践するエネルギーをもつ子どもの育成に通ずる。科学、文学、芸術、スポーツなど、すべて自己表現の賜ものである。“活きのいい奴”は、人生を豊かにする。

(会報編集委員 石井宗一)

## 北から南から

第45回関東甲信越静学校保健大会  
を終了して

栃木県連合学校保健会事務局

第45回関東甲信越静学校保健大会は、8月25日(木)、26日(金)、宇都宮市において関係の11都県により学校保健関係者1,104名参加のもと、宇都宮市文化会館を主会場として盛大に開催されました。

第1日目は、宇都宮市文化会館大ホール等において全体会・特別講演・アトラクション・班別運営委員会が行われ、全体会では山梨県が次期開催県に決定しました。

特別講演は、日光東照宮文庫長の高藤晴俊氏より「東照宮再発見」と題した講演をいただき、あらためて東照宮についての認識を深めることができました。

また、アトラクションでは、関東甲信越静各都県の「民謡とおどり」が一千代会により賑々しく披露され、参会者の拍手喝采を浴びた。

第2日目は、宇都宮市文化会館第1会議室他6会場で、7課題14協議内容により7班に分かれて研究協議が行われ(課題は下記参照)、各会場熱気にあふれた協議がされました。

特に、第3班は300名近い参加者により白熱した協議がなされ、参加者のニーズの高いことを痛感いたしました。

第1班 学校保健の活性化をめざした学校経営

第2班 知識の生活化を図る保健教育

第3班 豊かな人間性を育てるための性教育  
(エイズ教育)

第4班 心身の健康に関する管理と指導

第5班 生涯の健康づくりをめざした学校歯科保健活動

第6班 豊かな心を育てる環境教育と学校環境づくりについて

第7班 学校における防災教育の進め方

## センター的事業報告会に参加して

三重県学校保健会役員 青木 誠

初めて標記報告会に参加して、日本学校保健会の業績、ことに社会の激変と子どもの心身の実態に対応した多岐にわたる学校保健理論の学問的研究推進事業の重要性を再認識しました。しかし、学問的研究と両輪ともいうべき、学校現場での実践について考えてみると、本県においては、まだまだ反省すべき点の多いことも痛感しました。

もちろん、学校保健に献身的に尽力される学校三師はじめ多くの先生方の指導のもと、それぞれの地域・学校の実情に応じて最善を尽していますが、特に「保健指導は学校教育全体で取り組む」という視点で考えてみると、多くの学校でそうはなっていない状況にあると考えられます。

事業報告書・学校保健活動研究委員会の調査結果の一項目に、「学校保健委員会の活動状況」があり、「活発に行われている(15%)」とありましたが、正確に把握してはいませんが本県も同様の状況だと考えます。また、活動の人的共同・協力等の形態においても、「養護教諭まかせ(40%)」についても同様だと考えられます。

学校全体を一つの目標に向けて機能させるために多くの委員会が設置され、一人の教職員が複数の委員会に所属し非常に多忙なことは事実です。しかし、多くの教育目標が、「健康」を基盤にして達成されるというあたりまえのことを再確認し、保健委員会活動の活性化をはかる必要があります。このことは長年にわたって課題とされてきたことであり、今すぐといった方策は見出せませんが、除々にその活動が活性化している地域・学校もあり、たゆまぬ努力しかならないと考えます。

また同時に、日本学校保健会の貴重な指導と情報を、学校現場に生きて働く力とするため、県学校保健会も、中央と現場を結ぶ役割を十分果たす機能を強化しなければなりません。

# 学校保健募金によせて

## 大先輩からの提言

堀内 フミ

東海学校保健研究所長 安藤 志ま

戦後、学校保健教育と児童生徒の、疾病予防、環境衛生の改善を目標に、各部会で研究され養護教員部会では専門職として貢献してまいりました。本会は学校保健法の制定以来、躍進的に発展し、国の諮問を受け、昭和48年度よりセンター的事業が実施され、心・腎疾患はもとより種々の委員会と、時代の先端を行く学校保健の在り方について研究され、資料も提供して参りました。21世紀を担う国民の健康観への認識、及び、改善の道しるべとして今後衰退することなく、研究並びに事業拡大を願うものがあります。

次に、「学校保健募金活動」について、個人の寄付金は1口五千円で2口以上、最も期待する対象は学校の教職員、学校保健関係者であります。会報203号に副会長松尾学先生が募金要領を詳細に書かれておりますが、私の経験から申しますと、個人で1万円以上を出していただける人は少数と思います。来年の目標達成までに皆で協力しあいましょう。

私はプリペイドカードの活用を提案します。

最近我が国でも、NTTテレホンカード、JRオレンジカード等多種類のカードが使用されています。使用済となったカードを各学校で回収し、活用できれば大きな財産になると思います。各種の大会などで挨拶の時、本財団の窮状を訴えカードの集収を各学校にお願いする事は賢明の策と思います。地道にカード集めに力を注いではいかががでしょうか。チリも積れば山となると…。

(筆者は本会の元常務理事、前会報編集委員。また全国養護教員研究会の元会長。明治36年6月生で93歳、現在もかくしゃくとしておられます。)

日本学校保健会は、大正9年から戦前・戦中・戦後を経て今日に至るまで永年にわたり児童・生徒の健康の保持増進のために調査・研究をすすめられ、文部省の外郭団体としての強力な機能を果しております。

日本学校保健会の運営に当り、その財政基盤は、全国都道府県単位による児童・生徒数割りの拠出金によって運営が行なわれておりますが、近年は児童・生徒数の減少に伴ない会費の収入が減少して会の運営に大きなブレーキとなっております。その上に、また、児童・生徒の健康問題もいろいろと変化が見られ、身体面のみならず、精神面におきましても幾多の問題を抱えて登校拒否、いじめ、自殺等があり、大きい社会問題となっております。これらの対策のため、調査、研究は急務であります。故に財政面の裏づけは緊急を要することと痛感いたしております。昨年7月に文部省から特定公益増進法人の認可を受けられて募金活動に踏み切られました。そして、日本学校保健会の活動の活生化を図るために、学校保健関係者ならびに、この趣旨に賛同して下さる方々のご理解ある寄附を御期待する次第であります。なお、念のためにこの寄付金は1万円以上をお寄せいただいた場合には税金を申告の際に、必要経費として計上され、節税対策としても有効であると承わっておりますことを申し添えます。

(筆者は本会の元常務理事、全国私立短大養護教諭養成課程研究会前会長、現顧問。)

日本学校保健会だより

文部省体育局の学校健康教育関係者の人事異動

平成6年7月25日付で奥田與志清体育局長が退官され、新たに小林敬治氏(大臣官房審議官-教員助成局担当)が就任されました。また、同日付で近藤信司課長は高等教育局大学課長へ栄転し、銭谷眞美課長(初等中等教育局小学校課長)が就任されました。この他下記のごとく異動がありました。

平成6年1月1日付、体育局学校健康教育課課長補佐 栗山雅秀(初等中等教育局中学校課課長補佐)

平成6年7月11日付、体育局学校健康教育課専門員 今村知明(厚生省大臣官房統計情報部保健社会統計課保健社会統計室室長補佐)

平成6年9月1日付、体育局学校健康教育課学校保健係長 塚本良平(日本体育・学校健康センタースポーツ振興基金部調査広報係長)

なお、北島智子専門員は山梨県厚生部健康増進課長へ栄転されました。(敬称略)

「学校保健募金」協賛者ご芳名 (No.3)

- 夫雄男久弥院尚院夫一郎治院茂真江郎治惠誠元夫也
哲次吉俊秀病博医三樹一夫正隆清病 良志 若 宣研
田 行藤ヶ丘原田田崎原本野村園田木雲比内卓田本居
三堤東吉近鶴栗沼松川小笹小中梅村桂南朝久揚宮松鳥師
信明久司昭晴一見一院弘三子之雄院昌子高治院郎治彦一
秀芳宏僚元吉弘孝 昭百義孝科幸洋正佳医卯純幸
内本生田濱野村木塚内藤藤山川木 山瀬辻藤黒森本村本
山重佐々恩長早松正岡森須内田古鈴西内村大佐小吉松木杉
江繁明一郎徳章院三一弘孝朗敏尊雄一見典嗣子紀子雄夫
まつ三源成雅科洋義 泰三一美亮仁宏皖厚嘉珠幸栄
井辺井沢友形野齒田橋家岡本田藤崎嵐藤 上村井持本坂
今神根藍大山北西増高氏牧井池斎須五斎林井松永剣藤石
シ司之敏雄几孝雄治雄志茂一雄る芳三堅純知義朗吾信良
ヨ啓正 邦淑榮輝耕品盃 俊信ちは隆修 孝武正史晋昌寛
野門好 田田井浦田葉田藤 田岡田原戸玉田川村村藤
矢大三原小山坪三村千久篠遠森内丸友松藤児小白北中斉
志夫夫宏子子被泰ツ吉樹昭仁夫満良嘉良介男博巖一夫元
尚純数 昌久 力敬昌良尚晴 千加 士佑寛 宗昭
田藤熊浦林坂 林子井藤木留谷野 内部村橋根山井木槽
石加羽松小登新湖立長岡大手高等 小金和加青阿静小佐野 内柳阿木高関横石正甘
覧拓郎吉明允一崇江文三敏夫男孝介美夫壽也郎雄也記明
一人 麒英高 良 みち 俊陸英育龍 祐明岩光乙昭健秀直義
個 田池氏川村田松呂本野山藤木藤崎沼瀬井泉藤木井辺中
今小糸石吉武大野藤水丸近正後伊浅一福小安佐桜渡田

学童の集団検尿に、
エームス尿検査試験紙。
エームス尿検査試験紙
ネフロステックス-L
マイルス・三共株式会社
東京 都 中央区 築地 6丁目 19番 20号
販売元:
三共株式会社
東京 都 中央区 日本橋本町 3丁目 5番 1号 〒103 ☎ 03/5255-7111
JU1694-S

# シャボネット® 石鹸液 ユ・ム

ご連絡は… サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525 東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521

●子供も大人も『性』について見直してみましよう。●

**エイズ相談マニュアル** 厚生省保健医療局エイズ結核感染症課 監修  
 (財)エイズ予防財団 ★A5判・132頁・定価1,200円(税込)〈〒310〉

"さあ、しゃっぽつだ! からだと心のたんけん" 低・中学年

入江幸子 著 ★B5変型判・72頁・定価1,200円(税込)〈〒380〉

"さあ、出発だ! 体と心の探検に"

入江幸子 著 ★B5変型判・80頁・定価1,200円(税込)〈〒380〉

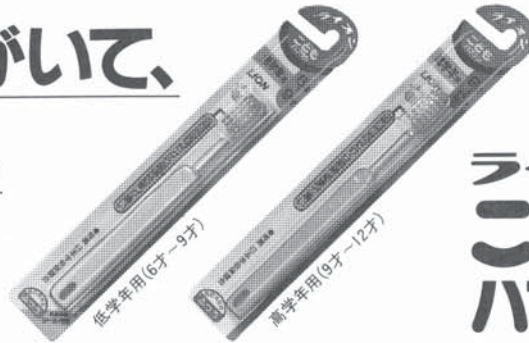
高学年

 **第一法規**

〒107 東京都港区南青山2-11-17  
 ☎(03)3404-2251/FAX(03)3404-2269

食べたらみがいて、  
**ムシ歯予防。**

食べたら、しっかり歯をみがいて、  
 ムシ歯を防ぎましょう。



いつも暮らしの中に  
**LION**

**ライオン  
 こども  
 ハブラシ**

**testo**



**1本5役!!**

1本で  
 風速/温度/相対湿度  
 露点温度/絶対湿度  
 の計測が可能

◆パソコンによる解析可能◆

テストタームの  
**マルチセンサ**

★詳細は下記までお問い合わせ下さい。

**テストターム株式会社**

〒226 横浜市緑区白山1-18-2G.I.C.  
 TEL.045-931-5735 FAX.045-931-5709

**健康へのひと粒**

歯・骨を丈夫に…

ビタミンADを含んだ… 服用しやすい  
 ゼリー状ドロップ剤



**カワイ肝油ドロップ**

 **河合製薬株式会社**

〒165 東京都中野区新井2丁目51番8号  
 電話 03(3385)3111~7